

編集後記

このところのAIの進化には目覚ましいものがある。大規模言語モデルに基づく自然言語処理AIのChatGPTは皆さんご承知のとおりだが、この編集後記を書いている時期にテキスト指示で高精細な動画を生成する新しいツール「Sora」をOpenAIが発表した。データ生成系のAIはだいぶ進んできた。人が言語で頼めるという意味では人とのインタラクションまででき始めているという点が革新的である。言語はアナログな実空間から情報空間へ移しやすい情報伝達経路であることが、この革新につながっているものと考察できる。コロナ禍で始まったリモート会議でも言語だけの情報でよければ十分であることもわかった一方、「対面」ならではの情報伝達経路やインタラクションも重要であることは最近われわれはよく体験している。

本特集号は人とロボットが違和感なく共存する社会を実現するには、「柔らかいロボット」が必須であり、「対面」のインタラクション技術の向上を目指したものである。そ

のような柔らかいロボット実現のため、物理的な柔らかさを与えるメカニズムの議論から、人との心理的な繋がりをもたらす「柔らかさ」とはどのように制御すべきなのか議論を深める内容となっている。この場合、制御対象はロボット自体にとどまらず、自己効力感や安心感といった人の心理的な側面、さらには人の気づき、そしてそのようなロボットはわれわれの未来をどう変えうのか、といった従来のロボット制御の枠組みを大きく超え「ヒトを制御する」という概念に踏み込んだものとなっている。企画の方向性や執筆者を決めるにあたって、ゲストエディタを引き受けいただいた下田真吾先生に多くのご意見を賜りました。また原稿の執筆にあたってはムーンショットプロジェクトPMの平田泰久先生や参画されているプロジェクトメンバーの方々から貴重な研究成果について解説していただくことができ改めて感謝申し上げたい。

(林部 充宏 記)

◇第63巻第6号(2024年6月号) 予定目次◇

一般記事

リレー記事 「FACE the future」《第65回》核四極共鳴を用いた固体試料計測技術 大田垣祐衣(三重大)

特集 新たなサービス創出のためのシステム制御・最適化とスマートシティへの挑戦

総論 新たなサービス創出のためのシステム制御・最適化とスマートシティへの挑戦 井上正樹(慶應義塾大)

解説 サービス化するスマートシティと自動制御の役割
河野通長(ミチクリエイティブシティデザイナーズ)、井上正樹(慶應義塾大)、和佐泰明(早稲田大)、平田研二(富山大)、永野善之(スマートシティ社会実装コンソーシアム)

解説 健康増進都市に貢献する社会システム技術 倉橋節也(筑波大)

解説 生体信号を活用した医療AI 藤原幸一(名古屋大)

解説 マッチングマーケットのデザインにおける課題と対策— 保育所利用調整とオンラインデーティングを例に— 富田耀志(サイバーエージェント)

解説 制御工学と最適輸送によるワンウェイ型カーシェアリングの再配置問題へのアプローチ 星野健太(京都大)、櫻間一徳(京都大)

解説 行動変容とナッジ 山下駿野(三菱重工業)

解説 逆強化学習による選好のモデリング論 荒井幸代(千葉大)

(第63巻第5号)

特集号ゲストエディタ: 下田真吾(名古屋大学)

特集号編集WG: 信川 創(千葉工業大学)、大谷雅之(近畿大学)、保田俊行(富山大学)、山田広明(富士通)、林部充宏(東北大学: 幹事)

2024年度 会誌出版委員会 (五十音順)

委員長: 山下 智輝

副委員長: 小木曾公尚

飴谷 充隆	伊藤 博通	伊藤 優司	井上 淳	伊吹 竜也	大谷 雅之	大塚 章正
岡本 有司	尾山 匡浩	川喜田佑介	川瀬 利弘	久下本秀和	田中 基康	豊田 充
西川 鋭	西野 敦洋	長谷川圭介	堀内 哲也	堀川徳二郎	宮廻 裕樹	保田 俊行
山田 広明	吉野 公三					